

～演奏とお話による～

宮城道雄と明治新曲

—勅題に着想を得て

平成30年 4月14日(土)

午後2時開演 (1時30分開場)

宮城道雄記念館

東京都新宿区中町35

入場料 2500円(当日売 3000円)

※要申込

清水楽 春の海 島の朝 泉 明治松竹梅

宮城道雄作曲の《春の海》が昭和5年(1930)の宮中歌会始の勅題「海辺の巖(かいへんのいわお)」にちなんで作曲されたことはつとに有名ですが、《泉》などほかにも勅題にちなんだ作品があります。そればかりか、明治31年(1898)の勅題にちなんだ《松上の鶴》など、いわゆる明治新曲にも勅題にちなんだ作品や、天皇・皇后の御製や御歌を歌詞とした作品が多く作られました。どうして、そうした作品が生まれたのか、また、宮城曲と明治新曲との関係について、時代背景を交えつつお話し、勅題にちなむ作品の演奏をお聴きいただきます。

お話 千葉優子 (宮城道雄記念館 資料室室長)

演奏(箏) 樽松志保美 藤木豊乃 村田章子
(尺八) 安島瑤山

※ お申込み、お問合せは・・・

宮城道雄記念館まで

TEL 03-3269-0208

MAIL kinenkan-info@miyagakai.gr.jp

交通：都営大江戸線 牛込神楽坂(A2出口)歩3分 東西線神楽坂(神楽坂口)歩10分
JR 飯田橋(西口)・有楽町線/南北線飯田橋(B3出口)歩10分